

《到達目標》

- (1) 姿勢や用具の持ち方を正しくして丁寧に書く。
- (2) 点画や長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書く。

学習計画 (総授業時間数 30時間)

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	もじのせかいにでかけ よう	・じをかくしせい ・はじめのれんしゅう
	ひみつをみつけよう	・ひらがなのれんしゅう
	もじのはなし	・どちらからかくのかな
	たんけんしよう	・「まがり」と「おれ・おりかえし」 ・「むすび」
	ちゃれんじ!	・なまえをかこう
	たからばこ	・ひらがなのひょう
	たんけんしよう	・「とめ」「はね」「はらい」
後 期	たんけんしよう	・「おれ」と「まがり」
	ひみつを見つけよう	・文字のかたち ・ひつじゅん
	チャレンジ!	・かきぞめをしよう
	ひみつをみつけよう	・かくのながさとほうこう
	たからばこ	・かん字のかきかた
	チャレンジ!	・おはなしやうたをかこう

《評価の観点》

《言語についての知識・理解・技能》
文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。



《評価の方法》

・活動の様子の観察、発表、ノートなど。

学習方法 (授業の工夫・家庭学習)

- 鉛筆の持ち方、姿勢など継続的に指導します。
- ゆっくり時間をかけて丁寧に書くようにします。
- 家庭学習でも、正しい鉛筆の持ち方や姿勢ができるよう保護者の方の協力をお願いします。

《到達目標》

- (1) 姿勢や用具の持ち方を正しくして丁寧に書くこと。
- (2) 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。

学習計画（総授業時間数 30時間）

学期	単 元	学 習 内 容	《評価の観点》
前 期	文字のせかいをたんけんしよう	・正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 ・片仮名を、筆使いに注意して書く。	書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。
	もっとたんけんしよう	・長い横画を見つけ、画の長さを考えて書く。 ・折れの方向の違いに気付き、画の方向を考えて書く。 ・払いの方向の違いに気付き、画の方向を考えて書く。	
	ひみつを見つけよう	・文字の中心にある縦画を見つけ、文字の中心を考えて書く。	
	チャレンジ	・既習事項を生かして丁寧に書く。	
	たからばこ	・片仮名五十音を、画の長さや方向に注意して丁寧に書く。	
後 期	もっとたんけんしよう	・文字の外形を理解し、外形を考えて書く。 ・筆順の原則を理解し、筆順に従って書く。	《評価の方法》 ・学習ノート・書写の会の作品 ・自己評価、相互評価など。
	ひみつを見つけよう	・画が接するところを見つけ、画の接し方に注意して書く。	
	画の交わり方	・画が交わるところを見つけ、画の交わり方に注意して書く。	
	チャレンジ	・既習事項を生かして書き初めをする。	
	ひみつを見つけよう	・横画と縦画の間隔の整え方を理解し、画の間隔に注意して書く。	
	たからばこ	・既習の字形の整え方をまとめ、丁寧に書く。	
	チャレンジ	・既習事項を生かして丁寧に書く。	
			学習方法（授業の工夫・家庭学習） ○学習ノートを使って、内容の定着を図ります。

平成22年度 年間授業計画（シラバス） **第3学年・書写**

《到達目標》

- (1) 文字の組立て方に注意して、文字の形を整えて書く。
- (2) 文字の大きさや配列に注意して書く。
- (3) 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方に注意しながら、文字の形を整えて書く。

学習計画（総授業時間数 30時間）

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	はじめに	・毛筆のしせい ・毛筆で書こう
	筆使い	・横画 <一 二>
	筆使い・字形	・縦画 <下> ・筆順と字形
	チャレンジ!	・知ってもらおう、自分のこと
	筆使い・字形	・折れ <日> ・組み立て方
後 期	筆使い	・はらい <大>
	筆使い・字形・横書き	・はね <小> ・文字の中心 ・横書き
	チャレンジ!	・書きぞめをしよう <正月 お正月>
	まとめ	・まとめ <水>
	チャレンジ	・まとめ <でんき> ・調べたことをつたえよう

《評価の観点》

《言語についての知識・理解・技能》
書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組立て方などを理解して文字を正しく書く。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、作品など
- ・道具の扱い方
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 道具の扱い方や姿勢について、写真などの具体的な資料を用いていつでも確認できるようにします。
- 手本や友達作品を視点をはっきりさせて見ることで、自己の課題を見つけることができるようにします。
- できあがった作品は台紙に貼り、学習の過程を振り返ることができるようにします
- 使った道具は家庭で丁寧に洗うようにします。

《到達目標》

- (1) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。
- (2) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
- (3) 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。

学習計画(総授業時間数 30時間)

学期	単元	学習内容
前期	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆のしせい ・ 毛筆で書こう
	字形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画の長さ<羊>
	字形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画の方向<麦>
	字形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆順と字形<左右>
後期	字形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組み立て方(左右の部分)<土地>
	筆遣い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆使い(ひらがな)<わし>
	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書初めをしよう<晴れた空>
	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・ <電気>
	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・ <天空>
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ<切手>

《評価の観点》

《言語についての知識・理解・技能》

書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書くことができる。



《評価の方法》

- ・ 活動の様子を観察, 作品, など
- ・ 自己評価, 相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

毛筆の指導においては、硬筆の能力の基礎を養うように指導し、文字を正しくととのえて書くことができるようにします。

1月に行われる書写の会を目指して、意欲の向上を図ります。

《到達目標》

- (1) 文字の形，大きさ，配列などを理解して，読みやすく書く。
- (2) 毛筆を使用して，点画の筆使いや文字の組立て方を理解しながら，文字の形を整えて書く。
- (3) 毛筆を使用して，字配りよく書く。

学習計画（総授業時間数 30時間）

期	単 元	学 習 内 容
前	はじめに	・毛筆のしせい ・学習の進め方 ＜たて画・横画＞
	字形	・組み立て方（上下の部分） ・「たけかんむり」の書き方 ＜笛＞
	字形	・筆順と字形（画の間隔） ＜馬車＞
期	筆使い・字形	・ひらがなの「結び」「折れ」「折り返し」の筆使い ・字形の整え方 ＜すばる＞
	字配り	・漢字とかなの大きさ ＜花さく町＞
後	字形	・「にょう」の組み立て方 ＜進め＞
	チャレンジ	・書き初めをしよう ・小筆の持ち方や使い方 ＜出発＞
	チャレンジ	・書き初めをしよう ・小筆の持ち方や使い方 ＜心に太陽＞
期	まとめ	・5年の学習のまとめ ＜電気記念日＞
	チャレンジ	＜新しい星＞

《評価の観点》

《関心・意欲・態度》

書写学習に興味を持ち，既習事項を生かして，意欲的に書こうとしている。

《思考・判断》

上下・左右の組み立て方を考えて書き，自分の目当てを持ち，自己評価や相互評価ができる。

《技能》

上下の組み立て方，画の間隔，「結び」の形，漢字と仮名の大きさ，行の中心，字間などに注意して字形や行を整えて書くことができる。

《知識・理解》

上下や「にょう」の組み立て方や書き方，筆順と画の間隔，筆順の違い，筆使いや外形が理解できるとともに，文字の大きさ，行の中心や書き出しの位置が理解できる。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察，発表
- ・道具の扱い，作品の整理など
- ・自己評価，相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 半紙に折り目をつけて，目安をもたせませす。
- 作品は1枚ずつ台紙に貼り，年度末に作品集にします。
- 筆は家庭できれいに洗わせるようにします。

《到達目標》

- (1) 文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書く。
- (2) 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方を理解しながら、文字の形を整えて書く。
- (3) 毛筆を使用して、字配りよく書く。

学習計画（総授業時間数 30時間）

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	はじめに	・毛筆のしせい・筆の持ち方 ・学習の進め方 ・筆使い
	字形	・組み立て方（3つの部分） ・「さんずい」の書き方 ＜湖＞
	字形	・筆順と字形（筆順と画の長さ、画の接し方） ＜成長＞
	チャレンジ	・文字と絵で伝えよう
	筆使い・字形 字配り	・ひらがなの「軽い始筆」「線の丸み」の筆使い ・行の中心 ・ひらがなのなりたち＜ふれあい＞
後 期	字配り・配列・横 書き	・文字の大きさ＜秋の虫＞ ・行の中心 ・行の整え方
	字配り	・字間・行間・余白の取り方 ・行の中心 ＜世界平和＞
	チャレンジ	・書き初めをしよう＜伝統を守る＞ ・小筆の持ち方や使い方
	まとめ	・6年の学習のまとめ ＜未来の夢＞
	チャレンジ	・未来に向かって ＜広がる夢＞

《評価の観点》

《関心・意欲・態度》

書写学習に興味を持ち、既習事項を生かして、意欲的に書こうとしている。

《思考・判断》

3つの部分の組み立て方を考えて書き、自分の目当てを持ち、自己評価や相互評価ができる。

《技能》

3つの部分の組み立て方、筆順と字形、文字の大きさ、行の中心、行の整え方、字間・行間・余白などに注意して字形や行を整えて書くことができる。

《知識・理解》

3つの部分の組み立て方、筆順と字形、文字の大きさ、行の中心、行の整え方、字間・行間・余白などが理解できる。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表
- ・道具の扱い、作品の整理など
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 半紙に折り目をつけて、目安をもたせます。
- 作品は台紙に貼り、掲示し、相互評価できるようにします。
- 筆は家庭できれいに洗わせるようにします。